

**連続セミナー**  
**温室効果ガス削減の可能性をさぐる**  
～新たな目標設定と政策の実施にむけて～

第1回

**削減シナリオと省エネルギー対策**

スピーカー 歌川学（産業技術総合研究所）

山岸尚之（WWFジャパン）

コメンテーター 増井利彦（国立環境研究所）

## 日本の状況 ～気候変動～

- **目標不在の空白期間**

- 京都議定書 第2約束期間不参加（2013年～） →国際義務なし
- 25%削減目標撤回 →国内の目下の目標なし  
2020年比3.8%削減2005年比・暫定目標  
2050年80%削減

- **福島第一原発事故後の停滞** →

- 2012年9月「革新的エネルギー環境戦略」で気候変動も一体的に検討。 →政権交代
- 「地球温暖化対策推進計画」未決定

**目標不在・計画不在・政策シグナル不在**

## 日本の状況 ～エネルギー～

- **福島第一原発事故**
  - 全原発停止 →規制委員会の審査
  - 国民的議論の展開
  - 「革新的エネルギー環境戦略」“2030年代原発ゼロを目指す”
- **「エネルギー基本計画」**
  - 2013年4月「エネルギー環境計画」策定
    - “原発・石炭は重要なベース電源”
    - (具体的な方向性やロードマップは見通さず)

**エネルギー政策の方向性は不透明なまま**

【連続セミナー開催の背景趣旨：平田仁子・気候ネットワーク】

# パリ会議へ向け、両方の検討が動き出した

環境省

経済産業省・資源エネルギー庁

中央環境審議会  
地球環境部会

産業構造審議会

総合資源エネ調査会

合同

約束草案検討  
ワーキング

長期エネルギー  
需給見通し小委

2030年頃の温室効果ガス排  
出削減目標を検討

エネルギーミックスの検討

パブコメ

パブコメ

国民的議論の場は？

温室効果ガスの削減目標案・エネルギーミックス決定

## 連続セミナー開催の趣旨

- **意欲的に気候変動問題に立ち向かうために、高い目標設定をするための検討を行う**
  - 将来のビジョン
  - 持続可能なエネルギーシナリオ
- **福島第一原発事故後の電力問題に向き合う**
  - 原発再稼働の問題と気候変動対策の整理
  - 再生可能エネルギーの可能性や石炭計画乱立への視点
- **幅広い削減可能性を掘り起こし政策を検討する**
  - 省エネ・フロンなどにおける削減の余地
- **参加と公開の下で、公正な国民的議論をおこす**
  - 検討プロセスへの問題喚起